

令和6年3月31日

2023年度 介護老人福祉施設サルビア 事業報告

介護老人福祉施設サルビア
施設長 清澤秀彦

1. 2023年度事業所目標の成果と課題

目標① ご入居者個々の状態に合わせたケアの充実を図る

〈成果〉

- ・「1日の行動計画」の毎日記載により、体調不良の入居者等への意識が高まった。
- ・終末期ケアスキル向上プロジェクトを発足し、終末期ケアの研修の充実が図れた。

〈課題〉

- ・医療的ケアスキルの向上、医療依存度の高い入居者に対する支援体制整備

目標② ウィズコロナ社会に対応した潤いのある交流方法の構築を行う

〈成果〉

- ・面会制限の緩和により、面会者数の増加
- ・ご家族参加による演奏会の開催、ボランティアの受け入れ再開（補助業務等）。
- ・インスタグラムによる情報発信（フォロワー1,000件突破）。

〈課題〉

- ・園児との交流、クラブ活動、定期的なボランティア活動の再開。

目標③ 状態変化に対して質の高いケアで応えるための学びの場、環境整備を行う

〈成果〉

- ・ケアの基本姿勢作成プロジェクトにて、新たなケア方針の作成に着手
- ・スッキリ向上委員会（生産性向上委員会）にて、生産性向上に対する意義が醸成
- ・浴室増設（美浴1台を追加導入）
- ・D f r e e（排泄予測デバイス）の導入と活用

〈課題〉

- ・新たに作成したケア方針の完成、IT機器の定着
- ・生産性向上に対する具体的取組の実施

2. 利用実績 ※（ ）は2022年度比

(1)入居率：94.1%（△0.9%）

退居に伴う空床日数は減少したが（平均空床日数：2022年度 39.1日→29.8日）、過去最多の退居者数及び入院日数増により計画未達（計画：97.0%）

(2)平均要介護度：4.06（+0.06）

(3)平均年齢：90.40歳（+0.38歳）

(4)新規入居者数：40名（+12名）

在宅から9名（内、法人内サービス利用者6名）、老健から4名、医療機関から16名、有料老人ホーム・サ高住から10名（内、法人内施設2名）、他から1名

(5)退居者数：43名（+9名） ※過去最多

サルビアにて死去28名 65.1%（+5名）、入院先にて死去11名 25.6%（+10名）、医療機関へ転院4名（△6名）

(6)入院者数及び入院日数：延べ47名（+18名）、延べ782日（+142日）

3. 主な活動報告

5月14日	入居者レントゲン
6月11日	空手演武
6月28日	避難訓練
7月1日	広報誌（第52号）
8月3日	サルビア花火大会
9月18日	敬老会
10月19日	焼き芋会
10月27日	避難訓練（水害訓練含む）
11月19日	楽団ケ・セラコンサート ※ご家族参加
11月29日	
～12月1日	全館床清掃
12月24日	クリスマスプレゼント配布
12月28日	餅つき
1月5日	繭玉作り
2月1日	広報誌（第53号）
2月3日	節分豆まき
その他	バイオリンコンサート（計3回）、訪問理容（月2回）、 訪問美容（適宜）

4. 委員会、会議の状況

(1)法人全体の委員会（4委員会）

福利厚生委員会、安全衛生・防災・環境美化委員会…概ね毎月1回

苦情解決第三者委員会、リスクマネジメント委員会・虐待防止委員会…年1回

(2)特養の委員会（7委員会）

事故対策委員会、身体拘束廃止・虐待防止委員会、ケアスタディ委員会、医療的ケア

委

員会、食生活委員会、スッキリ向上委員会…概ね月1回

入居検討委員会…毎月1回

(3)会議

運営会議…毎月1回

特養会議、ユニットリーダー会議、ユニット会議…毎月1回

チームリーダー会議、チーム会議、フロア会議…年数回

5. 職員研修の状況

(1)外部研修、他施設交流

17講座延べ24名参加 ※法人で契約しているWEB研修の視聴は除く

ほっとケアの会（松本圏域のユニット型施設職員の交流研修）0回

(2)内部研修

法人共通：8テーマ

（新人研修、事業説明会、苦情対応、ターミナルケア、感染対策、身体拘束廃止・虐待

待

防止、評価者訓練）

特養のみ：10テーマ

(新人研修、ユニットケア、褥瘡、事故対策（KYT、ヒヤリハット、事故時の対応、事故後の対応）、終末期ケア、入居者体験、他)

6. 外部からの受け入れ

(1)面会者数

5,912人

(2)実習生受入

6団体12件20名

(3)ボランティア ※令和5年度はスケッターと団体のみ受付

個人：0名

スケッター12名（計46回）

団体：4団体、18名

(4)松本市介護保険派遣相談員

12回

7. 苦情受付の状況

合計：8件（ケアの内容に関する事項）

迅速かつ真摯な対応を心がけ、全て解決しています。

以上

令和6年3月31日

2023年度 住宅型有料老人ホームあんじゅり 事業報告

住宅型有料老人ホーム あんじゅり
管理者 小澤 倫世

1. 2023年度事業所目標の成果と課題

目標①「わたし」の力を持ち寄って、暮らしの場を作りあげます。

成果：・毎月季節ごとの行事が行えた。

- ・集いの企画には至らなかったが、入居者層や入居者の興味・好みに合わせて施設内のレイアウトを変更した。入居者同士が自然と集う姿が見られた。歌や体操を好む方が多く、YouTubeの活用も取り入れた。
- ・施設の設備環境によって阻害されている部分を工夫して「自分でできる」家事援助の継続を支援

課題：・設備の老朽化と入居者層の状態に合わせた対応ができる（浴室含めた）環境作り

目標②気づきに重点を置き、サービスの質の向上を目指します。

成果：・（通年は難しかったが）法人内所属外研修を取り入れ、他の在宅サービスを目の当たりにする事ができた。

- ・法人内の研修の周知と活用
- ・オンライン会議の実施により、参加しやすい環境作り。

課題：・住まいのサービスの明確化

2. 利用実績※（ ）は2022年度比

(1) 入居率：96.1% (△2.4%)

(2) 平均介護度：2.46 (△0.37)

(3) 平均年齢：90.26歳 (+0.58歳)

(4) 入居者数：8名 (+1名) 病院から3名、自宅から5名、

退居者数：9名 (+2名) 逝去6名(うち3名あんじゅりにて逝去)、特養へ1名、老健へ1名、介護付き有料老人ホームへ1名

(5) 入院日数：171日 (△152日)

3. 行事報告

(1) レクリエーション

令和5年 5月20日 野菜植え

令和5年 6月8日・9日 ラベンダースティック作り

令和5年 7月15日 ケーキバイキング 7月23日 かき氷会

令和5年 9月17日 敬老会

令和5年 10月30日 ハロウィン

令和5年 11月26日 お寿司会
令和5年 12月25日 クリスマス
令和6年 1月1日 お正月イベント(お正月献立) 1月7日 繭玉作り
令和6年 2月3日 豆まき
令和6年 3月10日 桜餅作り

(2) 運営懇談会

令和6年3月16日 ご家族10組17名参加
食費改定と介護報酬改定の説明と法人職員による介護予防体操

(3) 避難訓練

令和5年 6月23日
令和5年 11月22日

(4) 外部評価

令和5年12月19日 実地指導(住宅型有料老人ホーム・訪問介護)
令和6年 1月10日 第三者評価

4. 委員会・会議

- (1) 法人全体：運営会議(月1回)、福利厚生委員会(第3水曜日)
安全衛生・防災・環境美化委員会(第4水曜日)
苦情解決第三者委員会(年1回、10月)
リスクマネジメント・虐待防止委員会(年1回、4月)
- (2) 有料・サ高住：向上志隊(月1回)
- (3) ヘルパー会議(月1回)
- (4) 施設訪問管理者会議(月1回)

5. 職員研修

感染対策研修、虐待防止・身体拘束廃止研修、認知症研修、接遇研修、BCP
法人内所属外研修、サービス提供責任者研修、感染対策研修、
その他、ヘルパー会議での伝達研修実施

6. 苦情受付の状況

1件 居室に多量の虫が入ってくる状況について面会者(ご家族)から相談あり。

以上

令和6年3月31日

2023年度 住宅型有料老人ホーム泉の里 事業報告

住宅型有料老人ホーム泉の里
管理者 奥原 和幸

1. 2023年度事業所目標の成果と課題

目標①専門的スキルを活かした個別ケアが提供できる

《成果》

- ：記録システムからの情報に基づいて、ヘルパー会議で検討し、ケアの統一を図り、個別ケアの提供に繋がった。
- ：新規入居者に対し、多角的な視点と培ったスキル各職員が積極的にケアの提案する等専門的スキルが発揮できた。

《課題》

- ：マニュアルの整備に至らなかった。

目標②我が家で最期の瞬間まで安心して暮らすことができる

《成果》

- ：2023年度は1件の実績であった。
- ：家族の協力も得て、馴染みの物に囲まれ、安心・安楽な環境を整えられた。

《課題》

- ：最期の看取りまでが数日間であった為、状態変化のスピードが速く、多職種連携が十分に図ることができなかった。
- ：最期の瞬間まで泉の里で暮らす入居者が増えるよう更なる環境整備に努めていく。

2. 利用実績利用実績※（ ）2022年度比

- ① 入居率：92.8% (△2%)
- ② 平均要介護度：3.06 (+0.9)
- ③ 平均年齢：90.0歳 (+2.3歳)
- ④ 新規入居者数：8名 (±0) 在宅5名、病院3名
- ⑤ 退去者数：10名 (+4名) 泉の里で逝去1名、病院にて逝去3名、病院から他施設へ入居2名 他施設へ4名
- ⑥ 入院日数：236日 (+152日)

3. 行事報告

- 令和5年4月30日 合同お誕生日レク (カットケーキとコーヒー)
- 令和5年7月16日 流しそうめん
- 令和5年8月12日 納涼会
- 令和5年9月18日 敬老会
- 令和5年12月25日 クリスマス会
- 令和6年2月3日 節分
- 令和6年3月3日 雛祭りレク

運営懇談会

- ① 令和6年3月24日（日） ご家族5組5名参加
食事改定と介護報酬改定の説明
ご入居者と一緒に昼食試食会

避難訓練

- ① 令和5年6月19日 避難訓練（立ち合い）
- ② 令和5年10月18日 水害避難訓練
- ③ 令和5年11月17日 避難訓練（通報）

第三者評価

- ① 令和6年1月22日受審

4. 委員会、会議の状況

- ① 法人全体の委員会（4委員会）
福利厚生委員会、安全衛生・防災・環境美化委員会…概ね毎月1回
苦情解決第三者委員会、リスクマネジメント委員会・虐待防止委員会…年1回
- ② 会議
運営会議…毎月1回
ヘルパー会議…毎月1回

5. 職員研修

- 虐待防止研修（資料研修）
- 職員接遇研修
- 感染症対策研修
- 認知症研修

6. 外部からの受け入れ

- ①面会者数 1,352人

7. 苦情受付の状況

- なし

以 上

令和6年3月31日

2023年度 住宅型有料老人ホーム愛香里 事業報告

住宅型有料老人ホーム愛香里
管理者 水谷 奈美江

1. 2023年度事業所目標の成果と課題

目標①入居者、家族が安心できる介護、雰囲気づくり

- 成果：・今年度は5名の看取りをした。終末期になっても本人、家族が希望する最期を迎えられるような関係作りができた。
・コロナ制限緩和後に外部ボランティアによるレクリエーションの開催ができ、利用者に喜んでいただけた。
- 課題：・ヒヤリハットにより解決策にも繋げられたが事故報告が前年度より件数がかなり増加した。

目標②職員研修の充実

- 成果：・毎月のヘルパー会議で報告者が自ら決めた研修、現状で早期に必要な課題を発表し職員間で周知できた。
- 課題：・外部研修の積極的な促し、キャリアパスの沿ったアドバイスをしていく事ができていなかった。

2. 利用実績（ ）は2022年度比

- ①入居率：98.2% (△0.3)
- ②平均介護度：2.72 (△0.07)
- ③平均年齢：90.7歳 (+0.3歳)、
- ④入居者5名、退居者数：7名 (+4)
愛香里の逝去5名、病院で逝去1名、特養へ1名
- ⑤入院日数：320日 (+192日)
基礎疾患にて入院

3. 活動報告

・レクリエーション

- | | | |
|------|--------|--------------------|
| 令和5年 | 5月15日 | お寿司(テイクアウト) |
| 令和5年 | 5月24日 | 利用者100歳祝賀会 |
| 令和5年 | 6月10日 | エレクトーン演奏(外部ボランティア) |
| 令和5年 | 8月14日 | スイカ割り |
| 令和5年 | 11月27日 | 新米会 |
| 令和5年 | 12月22日 | クリスマス会 |
| 令和6年 | 2月3日 | 豆まき |

- ・運営懇談会
令和6年 3月16日 入居者16名 ご家族12名 民生委員1名
ケーキバイキング/施設での様子スライドショー鑑賞

- ・避難訓練
令和5年 6月19日 さんぽみちと合同避難訓練
令和6年 1月19日 夜間想定訓練

- ・食費価格改定の案内
令和6年 2月 ご家族宛に送付

- ・第三者評価の受審
令和6年 1月5日

4. 委員会・会議

- 法人全体：運営会議（月1回）
 - 福利厚生委員会（第3水曜日）
 - 安全衛生・防災・環境美化委員会（第4水曜日）
 - 苦情解決第三者委員会（年1回）
 - 職員参加型プロジェクト（年6回）
- 有料・サ高住：向上志隊（第2水曜日）
 - 施設レク委員会（第1火曜日）
- ヘルパー会議（月1回）
- 施設訪問管理者会議（月1回）

5. 職員研修（内部）

- 感染症対策研修、訓練（2回）虐待防止、身体拘束研修（2回）苦情対応研修（1回）
- 職員接遇研修（3回）各自研修計画に沿って個人研修

6. 苦情受付の状況

なし

以上

令和6年3月31日

2023年度 サービス付き高齢者向け住宅千歳緑 事業報告

サービス付き高齢者向け住宅 千歳緑
管理者 北澤 知美

1. 2023年度事業所目標の成果と課題

目標①：楽しく気持ち良く過ごしていただけるサービスの提供

- 成果：・季節ごとの行事が、ほぼ毎月行うことができた。
・YouTubeの活用で歌を歌ったり身体を動かす機会が増えた。
- 課題：・有償に繋げるサービスの提供
・アセスメントの実施
・余暇時間の使い方

目標②：いちばんに選ばれる施設を目指す

- 成果：・入居に繋がらなくても問い合わせが多くあった。
・千歳緑への入居希望で待機者が数名いた。
・地域の行事に参加することができた。
- 課題：・地域住民との関係づくり。
・入居者も一緒に地域行事への参加
・職員のケアの統一

2. 利用実績 ※（ ）は2022年度比

- ①入居率：96.0%（-0.6）
②平均要介護度：3.49（+0.15）
③平均年齢：95.27歳（+3.5歳）
④新規入居者数：9名（+1）
在宅から2名、病院から6名、他施設から1名
⑤退居者数：8名（±0）
千歳緑にて逝去2名 病院にて逝去4名 病院へ1名 病院から他施設へ1名
⑥入院日数：263日（+158）

3. 行事報告

(1) レクリエーション

令和5年 5月	母の日イベント
令和5年 6月	父の日イベント
令和5年 7月	かき氷会
令和5年 8月	千歳夏祭り
令和5年 9月	敬老会
令和5年 10月	ハロウィン
令和5年 12月	クリスマス会
令和6年 1月	繭玉作り
令和6年 2月	豆まき

令和6年 3月 ひな祭り

(2) 運営懇談会

令和6年 3月3日(日) ご家族7組12名参加
食事改定と介護報酬改定の説明、利用者顧客度アンケートの実施
ご入居者のご家族様による歌謡ショー

(3) 避難訓練

令和5年6月7日
令和5年11月4日

(4) 第三者評価の受審

令和6年2月8日

4. 委員会.会議

(1) 法人全体 運営会議(月1回)

福利厚生委員会(第3水曜日)
安全衛生・防火・環境美化委員会(第4水曜日)
苦情解決第三者委員会(年1回)
リスクマネジメント・虐待防止委員会(年1回)

(2) 有料.サ高住 向上志隊(月1回)

施設レク委員会(第1火曜日)

(3) ヘルパー会議(月1回)

(4) 施設訪問管理者会議(月1回)

5. 職員研修

・感染症対策研修 ・虐待防止、身体拘束研修 ・接遇研修 ・認知症研修
・苦情対応研修 ・口腔ケアマイスター ・各自研修計画に沿った個人研修

6. 苦情受付の状況

合計2件(ケアに対してと言葉遣い) 職員に周知し解決しています。

以上

令和6年3月31日

2023年度 グループホームサルビア 事業報告

グループホームサルビア
管理者 西澤 守隆

1) 2023年度事業所目標の成果と課題

目標①：おたっしゅカフェ、運営推進会議の再開

- ・おたっしゅカフェの内容を検討し、再開していく。
- ・運営推進会議の実施

<成果>

- ・おたっしゅカフェについてはまだ再開していない。
- ・運営推進会議は集合形式にて再開している。

<課題>

- ・おたっしゅカフェの再開に伴い内容の検討
- ・運営推進会議の参加者が少ない為、参加への呼びかけ、日程の調整

目標②：外部研修への参加

- ・キャリアパスに応じた研修への参加をアプローチしていく。
- ・研修案内を活用し、職員の研修参加への支援を行っていく。

<成果>

- ・認知症介護実践者研修1名、看取りケア研修（長野県介護福祉士会）2名参加

<課題>

- ・実践者研修への継続的な参加が必要
- ・研修での学びをアウトプットしていく。

目標③：認知症の人の思いに共感できる職員育成

- ・入居者のできそうなことを探っていく、一緒におこなっていく。
- ・職員は一人ですべて行うのではなく、一緒に行うという意識を持ちながら業務を行っていく。
- ・認知症に関する動画等を用いて勉強会の実施

<成果>

- ・入居者と一緒に行うようにはなっている。また、できそうなことを探ることは継続できている。

<課題>

- ・入居者が一人で黙々と行い、疲れてしまっている様子がうかがえる。

2) 利用実績 ※（ ）は2022年度比

- ①入居率：94.5% (-3.5%) ・入院、退居があり、入居調整に時間を要した。
- ②平均要介護度：3.13 (+0.02)
- ③平均年齢：86.78歳 (-0.89歳)
- ④新規入居者数：2名 (+1名) ・在宅から1名、老健から1名
- ⑤退居者数：2名 (+1名) ・逝去2名

⑥入院日数：149日（+149）

3) 行事報告

(1) グループホーム行事

令和05年04月11日	運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会(書面)
令和05年05月21日	畑おこし(地域住民)
令和05年06月11日	お誕生日会
令和05年06月20日	訪問理容
令和05年06月28日	避難訓練、運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会、エクセラシオン高校園芸科交流会
令和05年07月07日	七夕饅頭作り
令和05年07月10日	コロナワクチン予防接種(入居者2名)
令和05年07月11日	コロナワクチン予防接種(入居者4名)
令和05年07月12日	コロナワクチン予防接種(入居者1名)
令和05年07月14日	コロナワクチン予防接種(入居者1名)
令和05年08月31日	グループホームガスコンロ交換
令和05年09月21、22日	訪問理容
令和05年10月18日	運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会
令和05年10月23日	集団指導
令和05年10月25日	全館消毒
令和05年10月27日	避難訓練(火災・水害)
令和05年10月30日	苦情対応システム研修・苦情解決第三者委員会
令和05年11月09日	インフルエンザワクチン予防接種(入居者8名)
令和05年11月19日	サルビア祭りコンサート
	運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会
令和05年11月27日	コロナワクチン予防接種(入居者1名)
令和05年11月28日	コロナワクチン予防接種(入居者1名)
令和05年11月29日	床清掃
令和05年11月30日	訪問理容
令和05年12月08日	車点検・タイヤ交換
令和05年12月11日	入居者誕生日会
令和05年12月20日	コロナワクチン予防接種(入居者1名)
令和05年12月25日	クリスマス会
令和06年01月20日	入居者誕生日会
令和06年01月29日	グループホーム浴室修理(換気扇)
令和06年02月03日	節分豆まき
令和06年02月19日	運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会
令和06年03月06日	福祉サービス第三者評価
令和06年03月11日	運営推進会議、身体拘束廃止・虐待防止適正委員会
令和06年03月12、15日	訪問理容
毎	月：家族への手紙(入居者様写真付き、面会禁止時)

毎月第一火曜日：おたっしゅカフェ ※コロナウイルス感染予防の為、開催なし
毎月：岡野医院往診、城西病院・望月メンタルクリニック往診、梓川診療所作業療法士来所、めいデンタルクリニック往診

入居者誕生日月：誕生日会

床 清 掃：年1回

そ の 他

R5,8/21～27 コロナウイルス感染によりユニット閉鎖（入居者1名）

R6,1/6～11 インフルエンザ感染により特養出入り、面会禁止（職員1名）

(2) 地域行事、町会行事

年 2 回：ごみゼロ運動

年 1 回：総会（書面）

4) 委員会・会議

(1) 法人全体の委員会（4委員会）

福利厚生委員会、安全衛生・防災・環境美化委員会・・・概ね月1回

サルビア祭り実行委員会・・・参加なし

苦情解決第三者委員会・・・年1回

感染対策委員会・・・年2回

身体拘束廃止・虐待防止適正委員会・・・年6回（運営推進会議において）

(2) 運営会議・・・毎月1回

(3) 運営推進会議・・・年6回

(4) グループホーム会議・・・毎月1回

5) 職員研修

(1) 外部研修：2講座、3名参加

(2) 内部研修：4テーマ（感染対策研修、BCP、認知症研修、ターミナル研修）

6) 外部からの受け入れ状況

・面会者数：357名

・実習生：2団体2件2名 延べ13日

・ボランティア：0名

・松本市介護保険派遣相談員：0名

7) 苦情受付の状況 ・苦情合計0件

以上

2024年3月31日

2023年度 居宅介護支援事業所サルビア 事業報告

居宅介護支援事業所サルビア
管理者 船坂 菜津子

1. 2023年度事業所目標の成果と課題

特定事業所として運営基準を遵守し、質の高いケアマネジメントを行うとともに地域の方の相談窓口となる。

目標① ケアマネジメントの質の向上

成果： 事業所内勉強会については、オンラインも活用して実施し、各ケアマネのスキルアップに繋がった。事例検討については、実施件数が少なかった。

3事業所合同勉強会については、在宅でのターミナルケアについて実施し、訪問看護ステーションの管理者から話を聴き、事業所間、職種間の連携について、再確認することが出来た。ケアプランに関しては、事業所内での勉強会の実施は出来なかったが、ケアマネ勉強会で行われたため、各自確認した。また、10月の実地指導の際には、ケアプランや記録など、すべてにわたって点検を行うことが出来た。

新型コロナウイルスや自然災害等については、事業所内で、BCPの勉強会も行い、生活環境の変化に対応した支援を行うことが出来るように、事業所内でも日々意識するようになっている。

課題：日々の業務に追われ、事例検討やケアプラン勉強会が後回しになってしまわぬよう、各研修を計画的に実施する必要がある。

目標② 安定した事業所の運営

成果： 身近な相談窓口をアピールするため、ふれあい健康教室の際に立ち合った。相談者はいなかったが、今後も機会があれば継続する。

介護者向けの勉強会を予定していたが、ご家族から、交流会の希望があったため、さんぽみちと合同で開催することが出来、家族からも好評であった。

事業継続計画については、事業所内で勉強会を繰り返し行い、各ケアマネが新型コロナウイルスや自然災害に備えるべく、利用者ごとに、避難場所の確認などを行っている。

ICTの活用については、各自がスマートフォンを持ち、ケアカルテも使用できるようにしたが、パソコンと比較して画面が小さく入力には不向きである。

課題：ICTの活用方法について、事業所内で検討が必要

2. 利用実績

要支援・事業対象者	631件 (+10.1%)
要介護	1,113件 (△ 4.1%)
平均介護度	1.53 (△ 0.09)

3. 委員会・会議

- (1) 法人全体の委員会（福利厚生委員会、安全衛生・防災・環境美化委員会）月1回
- (2) 運営会議（毎月）
- (3) 介護支援専門員会議（毎週火曜日）

4. 教育・研修

- ① 事業所内研修（3事業所合同勉強会）
 - 在宅でのターミナルケア（1回）
 - BCP 勉強会（5回）
 - 事例検討会（1回）
 - 虐待研修（法人研修）（1回）
- ② 外部研修・勉強会
 - 他法人との事例検討会等（4回）
 - ケアマネ勉強会（ケアマネなんでも相談会）（8回）
 - 高齢福祉課・地域包括支援センター主催の勉強会（9回）
 - その他（10件）

5. 苦情

1件

以上

2024年3月31日

2023年度 ヘルパーステーションサルビア 事業報告

ヘルパーステーションサルビア
管理者 岩岡 由香利

1. 2023年度事業所目標の成果と課題

目標①:住み慣れた地域で在宅生活を継続する為の支援を行う

- 成果：・サービスに入った際、利用者、ご家族の声に耳を傾けそれぞれの思いに寄りそう事ができたと思います。
- ・利用者の体調や生活状態に気を配り、気がついたことをケアマネに細目に報告し、職員間でも連携ができていたと思います。
 - ・ご家族がコロナに感染してしまい介護ができない状況になった際、専門職として感染対策をしっかりと行いサービスに入ることができご家族の安心感につながったと思います。
 - ・在宅での看取りを他部署との連携、ご家族とのコミュニケーションを図ることでしっかりとおこなうことができました。

- 課題：・サービスの時間に追われ、利用者ができることも職員が行ってしまうことがあり一緒におこない利用者の意欲を引き出す関わりができなかったと思います。
- ・専門職として外部研修にあまり参加できなかったため、計画的に時間を作って参加できる体制にしていく必要があると思います。

目標②:安定した事業所の運営を目指す

- 成果：・月1回は実績を配りながらケアマネにサービスの空き情報を伝えたり、連絡を取り合う中で伝えたりして新規の利用者を紹介していただくことができました。
- ・身体介護で毎日サービスに入る利用者をしっかりと確保することができました。
 - ・昨年より新規の利用者は減りましたが、現在、利用中の方の状態変化により訪問回数が増えました。
 - ・有償サービスの依頼があった時は、空き時間を利用して受け入れおこないました。ゴミ出しなど助かっている方が多くいました。
 - ・職員の不足がありましたが、他の事業所からの応援がありサービスに影響がでることはなく安定していました。

- 課題：・施設入所された方や体調不良で入院される方がとても多くサービスの空き時間が出たときに有効に時間を使うことができませんでした。
- ・今年度行う予定だった利用者の満足度調査ができなかった。
 - ・事業所の強みの部分を打ち出してしっかりと発信していき、選ばれる事業所になるように考えていくことが必要だと思えます。

2. 利用実績 * ()は2022年度対比

- ①利用者数平均：55.4人（前年度△2.2名）
- ②要支援：1,982件（前年対比68.3%）
- ③要介護：4,240件（前年対比128.4%）

- ④平均介護度：2.25
- ⑤平均年齢：83.8歳
- ⑥新規利用者：21名（前年度△9名）
- ⑦提供回数：6,647回（前年+713回）
- ⑧終結:死去 17名 施設入所 11名
- ⑨有償サービス：230回（ゴミ出し含む）

3. 委員会、会議

- ・福利厚生委員会
- ・安全衛生委員会
- ・防災、環境美化委員会（毎月1回程度）
- ・運営会議（月1回）
- ・ヘルパー会議（月1回）

4. 職員研修

- 外部研修
 - ・接遇研修・虐待研修・感染症研修
 - ・松本市総合事業研修会・市立病院（在宅医療の研修）
- 内部研修
 - ・認知症研修（1回）・感染対策研修（1回）
 - ・ターミナル研修（居宅、さんぽみち、ヘルパー合同）

5. 外部からの研修受け入れ

なし

*法人内（あんじゅり）研修の受け入れを行いました。

6. 苦情受付の状況

なし

以上

令和6年3月31日

2023年度 デイサービス美事 事業報告

デイサービス 美事
管理者 深沢 育子

1. 2023年度事業所目標の成果と課題

目標①「安定した運営ができる。」

<成果>

- ・稼働率78.25%
- ・1日平均利用者数は29.74名
(コロナ関係の制限緩和また振替利用の取り組みにより前年度より2.1名増加)
- ・第三者評価、利用者満足度アンケートの実施
- ・各種加算の見直し、新たな加算算定に向けての準備

<課題>

- ・個別機能訓練算定者の増加
- ・振替利用の増加、定着に向けて対策を再検討
- ・データ管理の体制づくり
- ・大規模型Iへの移行等に伴う評価指標の見直し

目標②「地域と繋がりを持つ活動に利用者、職員ともに参加できる。」

<成果>

- ・まちづくり協議会への参加
- ・香りの会との活動の継続
- ・庄内地区主催の研修会へ参加し香りの会との活動内容を発表する
- ・町会主催の夏祭りや春秋清掃活動へ参加
- ・介護保険事業所による地域貢献を考える会への参加
- ・美事見学会の開催
- ・外出プログラム希望者の増加

<課題>

- ・外部への情報配信不足
- ・町会との防災連携の強化を図る
- ・児童館との交流再開
- ・在宅での生活が続けられるよう利用者および家族、地域との関係づくり
- ・機能維持(運動)が図れる体制づくりの再構築
- ・利用者満足度アンケートに基づく業務改善

目標③「わたしらしく働ける職場づくりができる。」

<成果>

- ・有給取得平均15日(昨年比:平均3日増加)
- ・役割、等級に合わせた研修案内
- ・各職種がそれぞれの役割を理解しコミュニケーションを積極的に図ることができた

<課題>

- ・活用できるマニュアルに改善する

- ・事業所目標の浸透や職員一人一人の目標管理
- ・職員一人ひとりのキャリアアップに繋がるような研修参加

2. 利用実績 ※()は2022年度比

- ①利用延べ人数：9190名（△656）
- ②稼働率：78.25%（△5.59）
- ③一日平均利用者数：29.74名（△2.12）
- ④平均介護度：1.55（△0.06）
- ⑤新規登録者数：33名（▼6）

3. 行事・活動報告

- 4月 桜あんパン教室、お花見送迎、庄内公民館作品展示
 - 5月 クッキー教室、畑づくり、演奏会
 - 6月 避難訓練＋千歳緑職員マジックショー、町内春季一斉清掃、柏餅づくり教室、
 - 7月 七夕飾り、紫陽花外出プログラム、抹茶クッキー教室、土用丑の日行事食
 - 8月 アイスイベント、収穫野菜イベントパン教室、流しそうめん、町内納涼祭参加、特別室開放（職員のお子さん対象）
 - 9月 さつま芋・かぼちゃクッキー教室、敬老の日イベント、敬老の日行事食、手作りおはぎ教室、美事見学会、町内秋季一斉清掃
 - 10月 美事運動会、けん玉ボランティア、クッキー教室、庄内地区防災訓練、外出・外食プログラム、ハロウィンイベント、どらやき教室、干し柿づくり、講談師ボランティア
 - 11月 避難訓練＋BCP訓練・研修、豊田町防災訓練、蕎麦打ちボランティア（シニア大学）、おはぎづくり教室、リースづくり教室
 - 12月 Xmasパン教室、Xmasイベント、初夢ジャンボ宝くじ販売、野沢菜づくり教室、餅つき、麻雀スケッター利用
 - 1月 初夢ジャンボ宝くじ抽選会、繭玉づくり、肉まん作り教室、外食プログラム
 - 2月 バレンタインクッキー教室、節分イベント、麻雀スケッター利用、県庁作品展示
 - 3月 外食プログラム、甘酒づくり教室、麻雀スケッター利用
- ※とくし丸利用、アロマハンドマッサージボランティア（毎月）

4. 委員会・会議

- 1) 委員会：法人全体の委員会活動（4委員会）、福利厚生委員会（第3水曜日）、安全衛生委員会（第4水曜日）、苦情解決第三者委員会（年1回）、リスクマネジメント／虐待防止委員会
- 2) 美事内の係：感染対策、トリム、プログラム、調達、学習、物品、慶弔、マニュアル
- 3) 法人全体の会議：運営会議（月1回）、管理者サポート（月1回）
- 4) 内部会議：美事会議（第3金曜日）、介護会議（第4月曜日）、プログラムチーム会（第3月曜日）、トリムチーム会（第2火曜日）
- 5) その他：参加型プロジェクト会議、内部監査、スマイル打ち合わせ

5. 職員研修

【外部研修】 ※オンライン研修含む

「生産性向上支援訓練 管理者のための問題解決力向上」「生産性向上の取り組みに関する」研修、介護人材サポート研修（6講座）、通所介護BCP研修、「決算書の読み方」研修、苦情対応システム研修会

【法人内部研修】

（法人全体）

外部講師による接遇研修（年3回）＋接遇OJT研修、口腔マイスター研修、新人研修、権利擁護研修

（美事）

認知症ケア勉強会、PTによる介護技術勉強会（移乗動作について）、身体拘束廃止／虐待防止研修（2回）、感染症対策研修＋実践（4回）、避難訓練＋BCP研修／訓練（2回）、キャリア形成訪問指導事業 感染症対策と熱中症予防研修／身につけよう傾聴スキル研修

【庄内地区行事】

地域づくりモデル地区事業 アロマハンドマッサージ受け入れ、庄内地区まちづくり協議会参加（任期2／2年）、町内清掃／防災訓練参加、庄内地区研修会参加（防災講座など）

【その他】

介護体験、高校生アルバイト受け入れ、安全運転管理者講習

【ボランティア】

アロマハンドマッサージボランティア（毎月）、講談師ボランティア、蕎麦打ちボランティア、けん玉ボランティア

6. 苦情受付状況

合計：3件

（職員の対応・送迎中の対応・荷物袋の入れ間違いについて）

いずれも区分は要望、迅速かつ真摯な対応を行い解決しており、サービス利用も継続しています。

以上

令和6年3月31日

2023年度 小規模多機能型居宅介護さんぼみち 事業報告

小規模多機能型居宅介護さんぼみち
管理者 小林 俊介

1. 2023年度事業所目標の成果と課題

目標①「地域での暮らしを支える」

<成果>

- ・新型コロナウイルスが5類に移行するも地域の行事は感染防止から慎重に行っており利用者が地域行事に参加することはなかった。
- ・運営推進会議では町会長や民生委員からの意見、要望を受け止め地域課題に取り組むことができた。
- ・家族向けの介護者の集いの開催をすることができた。

<課題>

- ・梓川地域以外の利用者の地域のニーズ等は分からず関係も薄い。
- ・さんぼみち自身としては地域との関係の構築が不十分。

目標②「さんぼみちの特色を出し、運営の安定化を目指す」

<成果>

- ・登録利用者が26名まで行く月があった。
- ・シーズン毎の営業訪問によりさんぼみちの特色の周知に繋がっていると感じている。(良い部分も悪い部分も)
- ・暇な時間が多いという去年のアンケート調査結果からの余暇時間の充実。

<課題>

- ・問い合わせ数が伸びない
- ・現在での職員体制での受け入れ人数の限界もあり今後の体制の検討。
- ・計画的な外出やアクティビティ等の実施が乏しい。

目標③「人材育成に取り組む」

<成果>

- ・助け合いや支え合いの風土は良くカバーし合っていた。
- ・会議とは別にケアの見直しやプランの確認など意識統一。
- ・異動職員の独り立ちするまで手厚いサポート。

<課題>

- ・外部研修や内部研修への職員参加率が低い。
- ・システマティックなOJTの実施。

2. 利用実績 (2024年3月末)

- ①利用率：82.2% ・登録29名中24名
- ②平均要介護度：1.98
- ③平均年齢：87.1歳
- ④体験利用：5名
- ⑤終結：9名 (特養や有料などへの入居。逝去など)

3. 主な活動報告

4月	お花見
5月	さんぽみち便り発行
6月	避難訓練(愛香里合同) さんぽみち便り発行
7月	七夕飾り 夏祭り
8月	スイカ割り
9月	敬老会
10月	ハロウィン 避難訓練 マジックショー さんぽみち便り発行
11月	避難訓練 臨床美術講座
12月	クリスマス会 餅つき
1月	繭玉作り さんぽみち便り発行
2月	節分
3月	ひな祭り

4. 委員会、会議

- ・運営会議（6回：書面会議も含む）
- ・安全衛生防災環境美化委員会（毎月）
- ・福利厚生委員会（毎月）
- ・さんぽみち会議（毎月）

5. 職員研修

- ・感染対策研修
- ・ターミナルケア研修
- ・認利生研修
- ・リスクマネジメント研修
- ・虐待拘束防止研修
- ・長野県宅老所・グループホーム連絡会主催の研修
- ・ケアマネージャー勉強会

6. 外部かからの研修受け入れ状況

- ・福祉大学校 1名

7. 苦情受付の状況

- ・合計 1 件：社用車の運転について
個人宅敷地内で社用車をUターンしたことによりその家の住人より苦情の申出あり。
私有地には絶対に入らないことを職員間で周知し解決済み。

以 上

令和6年3月31日

2023年度 保育所さるびあ 事業報告

保育所さるびあ
園長 小岩井 綾

1. 2023年度事業所目標の成果と課題

「一人ひとりが健康で安全に過ごし元気に遊べる子ども」の育成

目標①：保育所さるびあの特徴を活かした保育をする

- 成果：
- ・季節や自然を感じられるような遊び、家庭ではできないようなダイナミックな遊びをすることができた。
 - ・保育所の雰囲気、良さを伝えられるようなインスタの発信ができた。
 - ・少人数の良さを生かし、一人ひとりの子どもに寄り添った丁寧な保育を行うことができた。
 - ・職員の入れ替わりがあったが、チームワークやコミュニケーションを大切にした保育を心掛けた。
- 課題：
- ・特養やグループホームの入居者さんとの触れ合いを計画していきたい。
 - ・雨の日の遊び、手作り玩具の充実
 - ・保育観の共有と方向性の擦り合わせ。保育士の資質向上

目標②：保護者の方に安心して預けていただける保育園を目指す

- 成果：
- ・午睡時コットの導入より、保護者の負担軽減になった。
 - ・保護者とのコミュニケーションを大切に、子どもの園の様子を伝えたり悩みを共有したりすることで、子どもだけでなく保護者も支えていくようにした。
 - ・保護者対象の満足度調査で高評価をいただくことができた。
 - ・体調不良児、怪我等の対応を看護師が迅速に行った。
- 課題：
- ・写真のプリント代が値上がりしている。注文方法の検討
 - ・今後も人権に配慮した保育、保護者対応を丁寧に行っていく。
 - ・園児募集、入園児の決定方法を再検討する。

目標③：保育士の質の向上に努める。

- 成果：
- ・職員間で定期的に話し合いの場を持ち、保育の進め方、子どもの対応方法などその都度確認し合うことができた。
 - ・前年度より研修会への参加機会が増えた。
 - ・保育雑誌の定期購読や書籍の購入で学びを深められた。
- 課題：
- ・研修での学びを他の職員に共有し保育に活かす、という時間が十分に確保できなかった。
 - ・特別な配慮を要する子の支援方法、保護者との連携
 - ・保育が少しずつ変わっている中で、全職員が何を大切にしたいかを明確にしながら、常に学ぶ意欲、姿勢を持つことが大切

2. 利用実績

- ・12名（2歳児3名、1歳児8名、0歳児1名）
途中退園0名、途中入園0名 延べ利用人数12名
- ・一時保育 なし

3. 行事報告

6月20日	内科検診
6月27日	参観日
6月28日～	水遊び・プール遊び開始
7月25日	歯科検診
10月19日	焼き芋会
11月 9日	参観日
12月 5日	内科検診
12月25日	クリスマス会
12月28日	おもちつき
2月 2日	豆まき

・身体測定(月1回)、避難訓練(月1回)、不審者対応訓練(年2回)、誕生日会(適宜)

4. 委員会、会議

- ・福利厚生委員会(月1回程度)
- ・安全衛生・防災・環境美化委員会(月1回程度)
- ・苦情解決第三者委員会(年1回)
- ・運営会議(月1回)
- ・保育所職員会議(月1回)

5. 職員研修

(外部研修)

- ・3歳未満児担当保育士研修
- ・保育所保育士等研修
- ・企業主導型保育事業保育安全研修
- ・発達障がい支援者研修会
- ・長野県保育士等キャリアアップ研修
- ・企業主導型保育事業施設長等研修

(法人内研修)

- ・新人研修
- ・2, 3年目職員研修
- ・救命救急講習

6. 苦情 2件

- ・送迎時の子どもの様子の伝え方、園児の名前の呼び方について。
- ・怪我をした時の対応方法について。

どちらも迅速な対応と丁寧な謝罪、今後の対応策を伝え、職員間でも周知、徹底することで解決しています。

以 上

2024年3月31日

2023年度 社会福祉法人梓の郷 経営管理部 事業報告

経営管理課長 高橋 健太
経営企画室長 高橋 優喜

1 運営方針

適正な人員配置と組織機能の充実化を進めます。

2 部署目標及び行動計画

職員の働きやすさ、働きがいに繋がる職場環境の整備と人材育成を目指します。

(1) キャリアパスとそれに連動した研修計画の立案と運用

① 個々の等級、役職に応じた研修の整備と案内

- 【成果】・令和4年度に引き続き萱野江津子先生による接遇研修9回（延べ87名参加）に加えて令和5年度は次期リーダー候補を対象としたリーダーシップ研修を2回（延べ26名参加）開催。10月には法人として取得を推奨している口腔ケアマイスター講座を開催し合計18名が受講・取得した。
- ・法人として契約しているWeb研修については委員会や法人内・事業所内研修における利用機会が定着してきている。

② 定期人事異動をおこなうための計画的な人材育成制度の作成・運用

- 【成果】・キャリアアップアンケートの実施（9月）とそれに基づいた人事異動
- 【課題】・年間採用計画完成に至らず。
- ・キャリアアップアンケートのさらなる有効活用（研修提供）

(2) 人材確保に向けた取り組み

① ハローワーク、教育機関等との連携強化

- 【成果】・ハローワーク主催のジョブセミナーの講師として招聘されるとともに、教育機関に出向いての就職説明会および公的機関からの依頼によるセミナーを実施した（合計約5回）。
- ・2024年度新卒入職者2名（充足）
 - ・ふくにん取得による外部アピールも継続中

② 多様な働き方に対応できる環境の整備

- 【成果】・(1)～(2)の結果、R5年度離職率8.8%（介護職員のみ：5.7%）

③ 様々な認証制度を取得することで、職員の働きやすさと法人イメージUPにつなげる。

- 【成果】・R6/6/1付で「職場いきいきアドバンスカンパニー」内の上位認証である「アドバンスプラス」を取得

④ 他業種・他学部からの人材獲得に向けSNSなどによる情報発信の強化

- 【成果】・法人ホームページのリニューアルを実施し、アクセス数は前年同月比（1～3月）177%（4,732回→8,409回）に増加
- ・事業所毎のInstagramは運用継続中。法人全事業所フォロワー数は前年同月比136%（5,354名→7,277名）

- ・長野県社協が勧める介護人材マッチングサイト「スケッター」を試験運用、R5/10～R6/4の間に約60件の有償ボランティアを受け入れ
- ・その他取り組み含めR5年度中の各種メディア掲載9回（市民タイムス・MGプレス・松本経済新聞・信濃毎日新聞・介護保険情報）

【課題】・他学部へのこちらからのアクション
・U/Iターンに関する調査・アプローチ

(3) 持続可能な法人運営のための取り組み

① 経費削減及び費用対効果を念頭に、適切な外部委託の推進

【成果】・コロナ禍の介護保険事業による収入の落ち込みおよび原材料費高騰に伴う経費増加を補うための各種補助金・助成金の積極的活用をおこなった。

・SPD関連のプロセス見直しに着手

【課題】・介護分野における非専門的業務の洗い出しと必要に応じたプロセスの見直しおよび外部委託を継続しておこなっていく。

② 外部環境の変化に左右されにくい収入源の確保

【成果】・新規事業の方向性について継続的に検討をおこなった。

(4) 地域の福祉課題解決に向けた新規事業の検討

【成果】・よりみちにおける各種活動を継続（いきいき百歳体操:51回、その他法人企画イベント4回、地域住民会合等9回、地域住民イベント利用等59回、運営推進会議5回、よりみちhiroba5回）

・職員参加型プロジェクトによる法人第3期中期事業計画原案の作成と上申

【課題】・よりみちの地域住民からの各種相談窓口としての機能は不十分

・世代間交流機能は不十分

(5) 経営管理部内業務体制の見直し

① 業務に必要なスキル向上のための研修受講の推進

【成果】・2024介護報酬改定に関する各種研修を受講

【課題】・受講を希望する研修があっても業務上の調整が困難であることから参加に難渋

② 担当分野制の撤廃と業務分担のフラット化

【成果】・人員減のタイミングに合わせて各業務の洗い出しと再分配を実施

【課題】・2024/4から実働開始

以 上